

令和8年8月28日

中央区長 山本泰人 様

中央区議会自由民主党議員団・政策の会

幹事長 海老原 崇 智

副幹事長 原 田 賢 一

副幹事長 磯 野 忠

政調会長 竹 内 幸 美

執行部 太 田 太

令和9年度政策要望提出にあたり

本区を取り巻く環境は、人口増加に加え、外国人居住者の増加などにより大きく変化しています。さらに、2040年代に向けて都市基盤整備が進展する中、臨海部においては、子育て世帯を中心に保育・教育需要が一層高まることが見込まれ、人口増加に伴う交通課題の解消も喫緊の課題となっています。

また、区民生活を支える行政サービスに求められる内容は、世代、家族構成、国籍、生活状況などに応じて多様化しています。こうした変化を的確に把握し、必要な情報と支援を確実に届けるとともに、将来を見据えた施策を機動的かつ着実に講じていかなければなりません。

このたびの政策要望は、区民生活の安心・安全を守り、本区の輝く未来を確かなものとしたいとの願いを込め、現在直面する課題と今後のまちづくりに必要な取組を、以下の四つの分野に整理したものです。区民一人ひとりの声と生活実態に真摯に向き合い、誰もが安心して住み続けられる中央区の実現につながることを強く願います。

- 重点政策要望1：区民サービス・情報発信・地域コミュニティの充実

区民に必要な情報や行政サービスを的確に届け、地域のつながりを維持・強化するための視点

- 重点政策要望2：暮らし・福祉・子育て・教育への支援強化

日々の生活不安に寄り添い、誰もが安心して暮らせる支援体制を整えるための視点

- 重点政策要望3：水辺・交通・都市基盤を含むまちづくりの推進

人口増加と将来の都市像を見据え、安全で快適な都市環境を形成するための視点

- 重点政策要望4：地域経済、防災、住環境など継続的課題への対応

地域の活力を守り、災害や物価高騰など継続的な課題に着実に対応するための視点

中央区議会自由民主党議員団・政策の会は、区民一人ひとりの暮らしに寄り添い、地域の力を生かしながら、誰もが安心して住み続けられる中央区の実現を願い、ここに令和9年度の政策要望書を提出いたします。